

# デジタルの力で人を笑顔に

NECは今年7月、国立高等専門学校機構（高専機構）とサイバーセキュリティ分野における人材育成強化を目的とした包括連携協定を結んだ。サイバー攻撃による脅威の高度化が進み、デジタル社会の安全・安心を守るセキュリティ人材の育成が求められる今、産学が連携して即戦力を育てる。同社の小玉浩常務に、サイバーセキュリティの重要性、高専生への期待について語ってもらった。

## セキュリティ人材の育成に注力

サイバー空間とフィジカル空間の融合が進み、DXが新しい社会を創る一方で、サイバー空間の脅威が一段と増えています。いまサイバー攻撃による損失額は、日本の国家予算を上回る年間6兆ドルに上る（※）といわれています。デジタル社会では、ITが企業経営の中核。ITなくして事業の高度化や効率化はできません。しかしITを活用して価値を創出できたとしても安全・安心が確保できなければ、その価値はリスクに変わってしまいます。つまり、セキュリティはDX推進の基盤。ところがいま、それを支えるセキュリティ人材の不足が深刻化しています。

セキュリティ人材に求められることは知識と実践力。高度な知識に加え、得た知識をいかに社会

実装していくかが重要です。そこでNECではセキュリティ人材の育成に力を入れています。サイバー攻撃を防御する実践的なセキュリティ演習を行う「NECサイバーセキュリティ訓練場」を設け、国際的に権威のあるセキュリティ資格「CISSP」の取得を推進。CISSP取得者はグループ内に300人を超えました。

## 安全・安心な社会を支える未来のパートナーへ

セキュリティ人材の強化は切迫した課題です。そこで技術を備え、手が動き、価値をつくれる、デジタルネイティブ世代の高専生に即戦力として大きな期待を寄せています。以前から高専とは協力関係があり、出張授業やインターンシップを行ってきました。その取り組みをパワーアップするため、今年7月に高専機構とセキュリティ人材育成を目的とする包括連

携協定を結びました。

サイバー空間では実践が大事です。しかし教育現場では実践の機会が限られています。そこで実践的な教育を支援するため、社内教育で使用している教材を提供し、模擬環境を用いた演習も可能にしました。

デジタル技術は人間力を引き出すための原動力。人間力を磨いて、技術を価値に変えていくことを突き詰めれば、ものすごい市場価値になる。つまり高専生のポテンシャルは無限大だと思います。NECには私を含め、高専出身の社員が集まった「Team高専」があります。我々は高専生の皆さんと共に、企業を、社会を、サイバー空間を守り、安全・安心な社会を構築して、人々に幸せをもたらす価値創出に取り組んでいきたい。そして「Truly Open, Truly Trusted（真のオープン、真のトラスト）」を実現し、デジタルの力で人を笑顔にしましょう。

※ミュンヘン再保険のレポート「サイバーリスク及び保険調査2022」



NEC  
執行役員常務 兼CIO 兼CISO 小玉 浩氏

1982年鹿児島工業高等専門学校・機械工学科卒業。  
企業の情報システム開発に従事し、大型案件のプロマネを実践。  
その後、ビジネス部門の責任者を歴任し、2019年より現職。  
プロジェクトマネジメント学会会長  
鹿児島工業高等専門学校 客員教授

Orchestrating a brighter world

NEC

新卒採用についてお問い合わせは

NECサイバーセキュリティ戦略統括部 タレントマネジメントグループ  
tms-cyber@mlsig.jp.nec.com